

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	千葉大学	整理番号	G - 1
拠点のプログラム名称	超高性能有機ソフトデバイスフロンティア		
中核となる専攻等名	自然科学研究科多様性科学専攻		
事業推進担当者	(リダー)上野 信雄 外13名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>有機半導体物性から有機デバイス創製にわたる千葉大学の先駆的研究集団を結集し、超高性能有機ソフトデバイスフロンティア拠点を形成する。ナノ制御有機薄膜成長、有機薄膜・界面の電子状態、さらに有機デバイスの電子・光物性と分子間の協力現象との関係や有機/無機界面での多様な物理・化学現象を総合的に「有機応用物理学」と位置づけ、千葉大学の重要研究教育拠点として強化し、世界のトップランナーを目指す。有機ソフトデバイスの高性能化に不可欠な、界面電子状態、電荷ダイナミクス等の解明を行い、ナノスケール有機トランジスタ・高性能シートディスプレイを創製する。これらによって「新しい科学・技術の芽」を創出し新規学術の開拓を行うと共に、環境改善、省エネルギー、新産業創成へ貢献する。若手をリーダーとする短期研究ユニット、国際活動支援組織などを設置し、かつチャレンジングな研究の場を利用して世界にはばたく若手研究者の育成と大学の活性化を目指す。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>有機半導体、有機物質を用いたデバイスの研究について長期間に高いレベルの実績があることと、それに基づいた意欲的な研究が計画されていることを評価する。また、教育について、過去の努力の積み重ねと積極的な各種プログラムを企画していることを評価する。とくに「人間相互作用空間」整備プログラムについて、その内容と意欲を評価するとともに、目標の実現を強く期待するものである。</p>			